

事業説明シート	1 管渠建設事業(継続)
---------	--------------

部局課所 下水道部下水道建設課
総合計画 1 章 環境と調和し快適に暮らす魅力あるまち
6 節 上・下水道の整備
2 項 下水道の整備
重点テーマ 2 環境と調和したまちづくりの推進

【①事業の目的】 下水道は、市民が健康で安全かつ快適な生活を送るうえで必要不可欠な都市基盤施設であり、浸水の防除、汚水の排除、トイレの水洗化といった生活環境の改善だけでなく、河川等の公共用水域の水質を保全するためにも重要な施設であり、今後とも積極的に整備を進める必要がある。 下水道普及率は平成14年度末73%の見込みで、平成17年度末目標を約80%に設定している。	【②事業の対象】 全市
【③全体事業概要】 H13～H22年度で総事業費55,392,000千円 →H22年度末下水道普及率90%見込み ・汚水幹線 下新城金足幹線他 L=19,303m ・雨水幹線 太平川2号幹線他 L=3,599m ・汚水面整備 金足、新藤田、下北手、横森、仁井田、浜田、四ツ小屋、下浜地区等 A=1,610ha ・ポンプ場 改築(外旭川、土崎、馬場、中島、川口、牛島、新屋) 増設(広面)	【④新年度事業概要】 ・汚水幹線2 下北手桜幹線、仁井田第五幹線 L=520m ・雨水幹線2 古川1号幹線、太平川2号幹線 L=350m ・汚水面整備 下新城、飯島、新藤田、広面、下北手、横森、桜、仁井田、浜田、四ツ小屋地区等 A=128ha ・ポンプ場 増設(広面)
【⑤備考】 生活基盤施設として下水道の早期整備に対する市民の強い要望に応え、下水道の整備を計画的に推進する必要がある。また、生活排水処理の整備については、下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽設置整備事業のすみ分けを、平成12年の秋田県生活排水処理整備構想の見直しの中で行い、効率的な整備を図っているところである。しかしながら、その後、国庫補助等について変化が生じていることから、秋田市環境基本計画推進本部水環境創造部会において、今後の整備の方針について、本年度中に一定の方向を見いだすよう再度検討を行う。	【⑥国県施策名】 下水道事業の推進 【⑦国補助率】 5/10 【⑧県補助率】 【⑨起債充当率】 90%（補）、95%（単）

事業評価シート	1 管渠建設事業(継続)
---------	--------------

【①事業成果(アウトカム)指標】					
指標	下水道普及率				
選定理由	水洗化の普及拡大を表す指標として適切であり、他都市等との比較が容易				
計算・推計方法	処理可能人口／住民基本台帳人口				
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	71.5%	73.2%	76.5%	78.5%	80.3%
実績	71.5%				

【②事業成果指標・備考】 H13年度末の下水道普及率は全国63.5%、秋田県40%
--

【③事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】 ○ 無 ● 有	整備コスト縮減、合流式下水道の越流対策が必要
---	------------------------

【④民間事業との競合】

☒ 無 ☐ 有	
--	--

[⑤住民ニーズ、行政需要の動向]	
☐ 増加傾向 ☒ 不変 ☐ 減少傾向	下水道早期整備の要望が多い

[⑥市が今行う必要性]	
☐ 無 ☒ 有	水洗化の普及拡大に向けての継続的实施

[⑦事業外部の条件整備(関連事業等)]	
☐ 問題無 ☒ 要配慮	都市計画道路整備等に係る新設や移設が伴う。 H15は都市計画道路川尻広面線他との工程調整等を要する。

12下水 1

事業説明シート	2 合流式下水道緊急改善事業(雨天時越流水対策)(継続)
---------	------------------------------

部局課所 下水道部下水道建設課
 総合計画 1 章 環境と調和し快適に暮らす魅力あるまち
 6 節 上・下水道の整備
 2 項 下水道の整備
 重点テーマ 2 環境と調和したまちづくりの推進

【①事業の目的】 汚水と雨水を同一の管渠で排除する合流式下水道(本市の場合、昭和7～50年に整備された管渠。中央地区に多い)は、その構造上、雨天時において雨水吐やポンプ場から遮集下水量を上回る下水(オーバーフロー)が公共用水域(河川等)へ排出されている。このことは、河川等の水質保全・公衆衛生の確保および景観等の向上などの観点から問題があり、緊急に合流式下水道改善事業を実施する必要がある。	【②事業の対象】 八橋処理区合流区域724ha他 土崎地区、新屋地区、茨島地区の一部
【③全体事業概要】 合流式下水道改善計画を策定後、合流式下水道の改善を計画的に実施する。(従って、現段階では全体事業の概要は未定)	【④新年度事業概要】 調査業務委託(水量水質調査、現況解析、目標設定等)
【⑤備考】 ⑫財政計画の事業費は、No.1管渠建設事業の内数	【⑥国県施策名】 【⑦国補助率】 5/10 【⑧県補助率】 【⑨起債充当率】

事業評価シート	2 合流式下水道緊急改善事業(雨天時越流水対策)(継続)
---------	------------------------------

【①事業成果(アウトカム)指標】					
指標	(調査事業であり、設定しない)				
選定理由					
計算・推計方法					
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標					
実績					

【②事業成果指標・備考】
 成果指標は、この調査により改善対象が確定してから設定する。

【③事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】

● 無 ○ 有

【④民間事業との競合】

● 無 ○ 有

【⑤住民ニーズ、行政需要の動向】

○ 増加傾向 ● 不変 ○ 減少傾向

【⑥市が今行う必要性】

○ 無 ● 有

【⑦事業外部の条件整備(関連事業等)】

● 問題無 ○ 要配慮

事業説明シート	7 下水道事業会計繰出金(継続)
---------	------------------

部局課所 下水道部下水道総務課
 総合計画 1 章 環境と調和し快適に暮らす魅力あるまち
 6 節 上・下水道の整備
 2 項 下水道の整備
 重点テーマ 2 環境と調和したまちづくりの推進

【①事業の目的】 下水道事業の安定的な経営を図るため、一般会計から繰り出しを行う。	【②事業の対象】
【③全体事業概要】 下水道事業に対する一般会計からの繰出金	【④新年度事業概要】
【⑤備考】	【⑥国県施策名】 下水道事業の推進 【⑦国補助率】 【⑧県補助率】 【⑨起債充当率】

事業評価シート	7 下水道事業会計繰出金(継続)
---------	------------------

【①事業成果(アウトカム)指標】					
指標	(指標を設定しない)				
選定理由					
計算・推計方法					
留意事項					
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標					
実績					

【②事業成果指標・備考】
繰り出し金ではなく、個別事業について成果指標を設定する。

【③事業手法・推進体制等見直しの余地(コスト削減、費用対効果向上)】

● 無 ○ 有

【④民間事業との競合】

● 無 ○ 有

【⑤住民ニーズ、行政需要の動向】

○ 増加傾向 ● 不変 ○ 減少傾向

【⑥市が今行う必要性】

○ 無 ● 有

下水道事業は公共性が高いことから、今後とも繰り出す必要がある。

【⑦事業外部の条件整備(関連事業等)】

● 問題無 ○ 要配慮